

なぜこれほど多くの日本人がデュッセルドルフにやって来たのか？ — 日本人社会の小史

出典：

レムシャイター・ゲネラルアンツアイガー紙（2020年3月12日）<https://www.rga.de/rhein-wupper/warum-japaner-nach-duesseldorf-13595511.html>

デュッセルドルフ経済振興局 日本デスク

デュッセルドルフという街にとって日本が大きな意味を持っていることは良く知られています。デュッセルドルフには8400人以上の日本人が生活し、欧州大陸部で最大の日系企業集積地となっていますが、その中には当地に欧州本部を置く企業も多くあります。またデュッセルドルフは優れた日系インフラを備えており、日本人学校と4つの日本人幼稚園、日本総領事館、日本商工会議所の他、日本クラブや恵光センター等の多くの文化機関や団体が存在します。2014年からは全日空がデュッセルドルフと成田を結ぶ直行便を就航しています。

どのようにしてデュッセルドルフにこれほどの日系インフラが確立されたのでしょうか？ いつデュッセルドルフは日本人の人気を集める都市になったのでしょうか？ そしてなぜインマーマン通りやクロスター通りを歩いていると東京にいるような気分になるのでしょうか？ ハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフの研究プロジェクト「日系企業集積地デュッセルドルフの歴史」はこうした疑問を調査しています。クリスティアン・タグゾルト博士が率いるこのプロジェクトはゲルダ・ヘンケル財団の助成を受け、デュッセルドルフが欧州においてロンドンに次ぐ日系企業の拠点となった歴史的な過程を明らかにしようとしています。

第二次世界大戦後の各国は重工業の発展に注力し、それによって戦争で破壊された都市の再建が大きく進みました。それまでドイツの日本人はハンブルクやベルリンに集中していましたが、デュッセルドルフはルール地域に近い街として日本人の興味を引きつけるようになりました。1950年代からは次第に多くの企業がデュッセルドルフに拠点を置くようになり、その中には大倉商事、三菱商事、東京銀行などの企業がありました。

もちろんデュッセルドルフは当時の西ドイツの首都ボンに近いこと、ベネルクス三国やフランスにも近い欧州諸国へのアクセスの良さなど、他にも経済拠点として魅力的な点がありました。し

かしその中でもやはりデュッセルドルフの北に重工業地帯が隣接していることが決定的な条件であり、その事実は日本商工会議所の記念誌にも明記されています。

デュッセルドルフ市もこの追い風を利用し、積極的に日本企業の誘致を進めるようになりました。この「国際ビジネス」分野における先駆的な動きは現在も経済振興局によって続けられています。経済振興局は既に 1963 年にはインマーマン通りに日本センター建設の計画を立ち上げ、1978 年に完成させました。また市は 1966 年に日本デーの開催を提案し、2002 年からは数十万人の訪問者を集める毎年恒例の大イベントとして確立されています。

このようにしてデュッセルドルフの日系社会はゆっくりと、しかし着実に拡大し、1970 年代半ばにはそれまでトップだったハンブルクを抜いてドイツで第一の日系企業集積地となりました。デュッセルドルフは企業誘致のみならず家族にとって住み心地の良い環境を整え、社員が安心して生活できることにより日系企業が同地への社員の転勤を進めやすくするよう努めました。そのために決め手となったのは 1970 年代初めに開校された日本人学校です。他にも日本クラブや総領事館、多くのレストランや商店が日系企業を引き付ける要因となりました。こうした日系インフラは半世紀に渡ってダイナミックに成長し、現在では生活環境に関わる全ての分野に広がっています。

日系社会の大半は数年後に日本に帰国する駐在員によって成り立っています。そうした人々が日本に戻ってからも「かつての地元」を少しでも味わえるよう、市は NRW 州およびメッセ・デュッセルドルフと共同で東京において「デュッセルドルフの夕べ」を定期開催しています。この催しではかつてデュッセルドルフに暮らした日系企業の代表者や外交官が集い、アルトビールとライン地方の料理と共に思い出に浸ることができます。前回のデュッセルドルフの夕べは 2019 年 9 月に 1000 名を超えるゲストを招いて行われました。

お知らせ：デュッセルドルフ観光局は当地の「リトル・トーキョー」を巡るツアー「寿司、酒と日本のライフスタイル」を提供しています。以下のリンクより、デュッセルドルフにある日本を料理の試食と共に体験できるツアーをお申し込み下さい：  
<https://www.duesseldorf-tourismus.de/duesseldorf/offer/detail/TUR00020110003641862>